

府中けやきの森学園 オリンピック・パラリンピック教育

■都立府中けやきの森学園「本校生徒がパラリンピック開会式に参加」

8月24日（火）、肢体不自由教育部門中学部3年の鈴木虎太郎さんが、東京都中学生代表として東京2020パラリンピック競技大会の開会式に参加しました。

鈴木さんは日頃からボッチャの練習に励むとともに、近隣の中学校と交流チームを結成しボッチャ大会に参加するなどの功績が大会組織委員会に認められ、開会式の日本国旗先導者に推薦されました。

開会式当日、3人の仲間と共に日本国旗を先導する鈴木さんの姿は、緊張しながらも自信に満ち溢れた表情で、堂々と車いすを操作していました。開会式の後、鈴木さんは「緊張したけど、とても貴重な経験ができました。先導する4人と国旗を運ぶ6人が移動する速度を合わせることがとても大変でした。何回も練習して、当日はうまくいきました。」と感想を話してくれました。

オリンピック・パラリンピック教育アワード校として、鈴木さんが東京都中学生代表としてパラリンピック開会式に参加したことを誇らしく思うとともに、今後、鈴木さんの経験を他の児童・生徒に伝え、本校のオリンピック・パラリンピック教育の更なる推進につなげていきます。

（主幹教諭 横井路彦）



国旗先導者の4名（右端が鈴木さん）



国旗を先導した府中市の2名